

## あつぎこどもの森公園は ……

長い間、地元の人によって山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までのこのような所にはたくさんの生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったのですが、それでもいまでは珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

### あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻55号  
連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail [atugikodomonomorikurabu@gmail.com](mailto:atugikodomonomorikurabu@gmail.com)

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

2021年第4回自然ガイドウォーク

## 雑木林の春

2021年4月17日(土)

9:30 ~ 12:00



主催 あつぎこどもの森クラブ



# にぎやか雑木林 4月10日

春たけなわ  
花や虫たちで森は賑やかです。



ウワミズザクラ



ヒメクロオトシブミ  
揺籃 撮影吉田文雄



ヤマブキ



ギンリョウソウ



ミツバウツギ



キンラン

ミヤマナルコユリ  
(蕾)



シュウニヒトエ  
3月のとき  
と比べて随分伸びました



アカメガシワの新芽



# 最近のこどもの森公園

カワセミ以外は4月10日 撮影吉田文雄



コゲラとウメノキコケ



カワセミ 4/14



ウラシマンウ



キラシソウ



ムラサキサギコケ



ケキツネノボタン



ベニシジミ

蘚苔類



ヒロハツヤコケ



タチヒタコケ

# センサーカメラがとらえた画像

この鳥 何でしょう? どなたか教えてください 4月6日

ハトぐらい? カメラの脇から飛びだして  
離れた木の枝に止まりました。

尾羽は明るい色で、翼は黒く、首から頭は明るい色のように見えます。



ニホンジカ 4月2日



4頭写っています。一番左の個体の上に二つの白い点が見えませんか。それが4頭目の光っている目です。



# 活動の記録

## 3月22日 草木染め勉強会



ほぼ毎月、園内の植物を使った草木染めの試行をいろいろしています。

3月はヨモギを材料にしました。媒染剤には明礬の他園内の水路の底の泥を使って実験しました。泥の中に含まれる2価の鉄イオンが効くそうです。昔、染物屋がこの辺りの泥を取って仕事をしたという話が伝わっています。



## 4月10日 ドングリ苗をポットに移植



ドングリ苗は去年のオータムフェスタで参加者に拾ってもらったものを育苗箱で発芽させたものです。発芽したものを一つずつポットに移しました。これを育てて来年のスプリングフェスタで参加者を募り植えてもらう予定です。

植える場所は、むささびの道脇の斜面です。

私たちは毎月園内の自然管理活動をしています。正会員登録をすればどなたでも参加できます。新しいメンバーの参加大歓迎です。

## 4月11日 水辺の生き物調査隊 新年度第1回開催



昨年度後半は新型コロナウイルスの影響で、中止していましたが、新年度に向けて新たに会員を募集して始めました。とても人気があり、定員を超えた

ために参加できない希望者をどうするかが課題です。

ガイドウオークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

## こどもの森ガイドウオーク (自然観察) 原則第3土曜

9:30 ~ 管理棟前集合 参加無料 どなたでも参加できます

### 2021年の計画

- 4月17日 雑木林の春
- 5月15日 夏鳥の声 ← 次回
- 6月19日 初夏の植物
- 7月17日 森の昆虫を探そう
- 8月14日 水辺の生き物
- 9月18日 谷戸のシダとコケ
- 10月16日 秋の花とキノコ

- 11月20日 種子の旅
- 12月18日 生き物の冬越し
- 2022年
- 1月15日 冬の野鳥
- 2月26日 冬芽の観察
- 3月19日 春の兆し

## 水辺の生き物調査隊 (申し込み制 年間メンバー固定)

- 4月11日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月16日 両生類~カエル・イモリについて ← 次回
- 6月20日 ホタルについて
- 7月19日 水生カメムシについて
- 8月 1日 トンボについて
- 2日 水生コウチュウについて・七沢遠足
- 9月 5日 外来生物について
- 10月 3日 河川調査について
- 11月 7日 ホトケドジョウについて
- 12月 4日 冬の生き物の過ごし方
- 1月10日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月 6日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月 6日 ヤマアカガエルについて

## 植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

## 草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月一回、平日の午前中に行っています。開催日はお問い合わせください。会員対象です。(入会はいつでも受付けています)